一般社団法人
日本獣医眼科
カンファランス
Japan Veterinary
Ophthalmic
Conference

一般社団法人 日本獣医眼科カンファランス JVOC

後援：一般社団法人札幌市小動物獣医師会、北海道小動物獣医師会

第38期 獣医眼科基礎講習会 & 症例カンファランス　札幌会場開講のお知らせ

【お知らせ】

一般社団法人日本獣医眼科カンファランスは、獣医眼科基礎講習会＆症例カンファランス、手術研究会を定期的に開催、また毎年７～８月に年次大会を開催し、正しい獣医眼科知識の普及啓蒙に尽力して参りました。つきましては第38期獣医眼科基礎講習会＆症例カンファランスを下記日程で開催致します。多数の先生方のご参加をお待ちいたします。

日　時　平成30年10月3日(水)　19:30～22:30

会　場　北海道獣医師会館

札幌市西区二十四軒４条５丁目9-3（地下鉄東西線 琴似駅下車徒歩２分）　TEL：011-642-4826

内　容　獣医眼科基礎講習会&症例カンファランス

⑤猫の眼科疾患（2コマ）　▶酪農学園大学　前原誠也

参加費

	事前登録参加費	当日登録参加費
後　援 獣医師会 会員	¥4,000	¥6,000
獣医師	¥5,000	
学　生	¥2,500	¥3,000
全課程修了者	¥2,000（ハンドアウト代含まず）	

すでに基礎講習会を全課程聴講いただいた先生には、同じ講義を再受講される費用を2,000円とします。ただし、改訂したハンドアウトをご希望の際には、3,000円にて販売します.

※ご注意
事前登録の上、参加をキャンセルされた場合、キャンセル料は頂戴致しませんが、ご入金された参加費はご返金できません。但し、参加費として1年間有効と致しますので次回参加の際、ご利用下さい。該当者の方には参加費振替利用券を郵送致します。
※当日参加の場合、つり銭のないようご用意をお願い致します。

事前登録締切　9月28日(金)まで

◉**事前登録振込先**　※郵便振替払込取扱票にてお申込と同時にお振り込み下さい。通信欄に「第38期基礎講習会札幌会場」とご記入下さい。

郵便振替払込口座　　口座番号：00180-2-338175　　口座名：日本獣医眼科カンファランスJVOC

■ATM等 ゆうちょ銀行　店番号：019　当座預金　口座番号：0338175

■ **申込方法**

▶ホームページより―― http://www.jvoc.jp/　▶FAXより（下の申込用紙に記入の上送信下さい。）―― FAX：03-6454-9810

◎事務局お問合わせ先：一般社団法人日本獣医眼科カンファランスJVOC事務局　FAX: 03-6454-9810／E-mail: confe＠jvoc.jp

参加申込書

第38期 獣医眼科基礎講習会&症例カンファランス　札幌会場

返信 Fax：03-6454-9810 ／ E-mail：confe@jvoc.jp

☐（一社）札幌市・北海道小動物獣医師会会員　☐獣医師　☐学　生

参加費振替　有　・　無　　参加費振込予定日　　月　　日

病院･学校名			
お名前		参加人数	人
電話番号		FAX	
E-mail			

何かご意見等ございましたら、お書き添え下さい。

一般社団法人日本獣医眼科カンファランス JVOC

獣医眼科基礎講習会＆症例カンファランス 開催

臨床獣医師が習得するべき獣医眼科の基礎知識を 13 講座 16 時間で履修するカリキュラムを作成し、獣医眼科基礎講習会として開催しております。また、基礎講習会内容に関連した実際の症例のカンファランスを併せて行っております。講師は獣医眼科領域の研究と臨床の双方に実績と意欲のある若手獣医師が担当し、判りやすいように解説しております。全 13 講座 16 時間を履修されますと修了証を発行しております。

講習に用いるハンドアウト資料は講習毎にカラー印刷の小冊子になっています。診察時に簡単に参照して頂くことで実際の診療に役立ちます。

講習名	講習内容トピック
① 眼の解剖学	眼の構造は非常に特殊であり、その構造を理解することは検査・診断だけでなく治療にも有用です。
② 結膜と瞬膜	「結膜が赤い」という症例は非常に多くみられます。「結膜炎」の診断を見直しましょう。
③ 角膜・強膜（２時間）	角膜潰瘍は一歩間違うと失明に至る恐い疾患です。「角膜炎」は正しくは「〜〜性角膜炎」という診断をつけることが治療への第一歩です。
④ 臨床薬理と治療	点眼薬はその作用機序を理解して使用しないと副作用から悪化を招きます。薬害を起こさないためには正しい知識が必要です。
⑤ 猫の眼科疾患（２時間）	猫は犬と違う疾患が沢山あります。この２時間で猫の眼科疾患をまとめて理解しましょう。
⑥ 眼窩・眼瞼・鼻涙管	眼瞼や涙の疾患も多いものですが、正しく理解することで疾患と症状のつながりが判ります。
⑦ 眼科検査と診断（２時間）	眼科疾患の診断は正しい検査の実施と解釈が必要です。体系的な眼科検査の習得が治療には必要不可欠です。
⑧ 犬の眼底疾患・視神経疾患	眼底や視神経の疾患は視覚喪失の重要な原因であるため、その理解が必要です。
⑨ 緑内障	急性の緑内障は緊急疾患です。緑内障の原因や病気によって治療法も異なるため、迅速かつ的確な診断と治療が重要です。
⑩ 前部ぶどう膜	ぶどう膜は眼内の炎症や腫瘍を起こしやすい部位です。正しく理解することが治療につながります。
⑪ 神経眼科	眼には様々な神経が分布しています。その構造・機能と症状を理解することで神経疾患を診断することが出来ます。
⑫ 全身疾患と眼症状	眼症状を呈して来院する症例には全身疾患が原因であることが少なくありません。注意するべき全身疾患とその眼症状について解説します。
⑬ イヌの水晶体・硝子体	犬の白内障は視覚喪失の重要な原因です。白内障からの合併症にも注意が必要です。

【基礎講習会講師】

齋 藤 陽 彦（トライアングル動物眼科診療室）
遠 藤 雅 則（くにたち動物病院）
小 野　　啓（パル動物病院）
滝 山 直 昭（日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医内科学研究室）
前 原 誠 也（酪農学園大学獣医学部獣医学科伴侶動物医療教育群）
梅 田 裕 祥（横浜どうぶつ眼科）
若 生 晋 輔（トライアングル動物眼科診療室）